

Smile 庄内

岡山市立庄内小学校

学校だより No.13

令和4年9月21日発行

9月

しょうじき なかよし いっしょうけんめい いのちだいじに

自ら課題を見つけ進んで考え学習する子をめざし

先日は、授業を参観していただき、ありがとうございました。写真の3年生は、前の時間に輪ゴムギターを作って鳴らしていました。子どもたちは、音がでる時には、ゴムがふるえていることに気づき、「どんなものでも音が出る時にはふるえるのか？」を課題にして、参観日に授業をしていたのです。また、2年生は、「小さな動物が入れるお家を新聞紙で作ろう」をテーマにして図工の授業をしていました。新聞紙という平面からいかに立体をつくり出すか？子どもたちは、試行錯誤しながら立体にするための工夫を次々に明らかにしていきました。

標題の「自ら課題を見つけ進んで考え学習する子」は、本校の掲げるめざす子ども像の一つです。参観された授業で、もしそんな子どもの姿を少しでも感じていただけたとしたら、うれしい限りです。もちろん、3年生や2年生以外の学年でも、そして参観日でなくても、「自ら課題を見つけ進んで考え学習する子」をめざして、授業を行うように庄内小学校では日々努力しています。学校だよりでは、どうしてもイベント・行事を取り上げがちなので、普段の授業風景を少し紹介しようと思います。



3年生
「理科」の参観授業



2年生
「図工」の参観授業



5年生「国語」話し合いの授業

教室に入ると、グループに分かれて子どもたちが熱心に話し合いをしています。「忘れ物を減らすために」、「授業中に発表を積極的にするために」グループごとに違ったテーマで話し合っています。学級会かなと思ったら、国語の授業でした。多様なアイデアを出し合いそれを焦点化していく「話し合い方」を学ぶ授業です。でも、選んだ課題が身近で真実性が高いものだったので、子どもたちは、つい本気になって話し合っていたんですね。

4年生「体育」小型ハードルの授業

運動場を見ると、子どもたちが楽しそうに段ボールを走り越えています。よく見ると、列ごとに箱の間隔も違うし、等間隔に並んでいない列もあります。後で担任に聞くと、6秒間小型ハードル走をしていたそうです。6秒間で決められた段ボールの個数を越えてどこまで遠く進められるかを計っていたのです。段ボールをどこにどう置くか、その段ボールをどのように走り越すかが工夫のしどころです。子どもたちは課題意識を持って、6秒ハードル走を楽しんでいました。

